



2010年12月よりアメリカ合衆国オハイオ州、クリーブランドクリニックで、心血管イメージング部門のリサーチフェローとして研究留学をさせていただいております。

クリーブランドは、五大湖の一つエリー湖の南岸に位置する、オハイオ第2の都市です。以前は自動車工業などで栄えましたが、不況とともに衰退しました。現在は、医療や金融などのサービス業によって再生の道をたどり始めています。そのクリーブランドの経済を支えているのがクリーブランドクリニックで、4万人近くの雇用を生み出しています。クリーブランドクリニックは、臨床、研究ともに世界を牽引する施設で、アメリカトップクラスの医療を提供する施設として、10年以上の間、高い評価を保ち続けている病院です。各種部門にたくさんの日本人研究者が留学し、臨床や研究で世界トップレベルの医療に触れています。私が信州大学循環器内科在職時は、主に心臓超音波を用いて、心疾患患者さんの血行動態評価を試みていましたが、近年進歩のめざましい領域である、心臓超音波を用いた心筋収縮様式の評価とその臨床応用を学ぶため、心血管イメージング部門に留学しました。現在までに左心室収縮様式と心事故との関連や、左房収縮様式と不整脈治療効果などを中心に、研究をしております。

家族での生活は今、毎日が楽しいことばかりですが、渡米当初は、体力的にも精神的にも辛い毎日でした。やはり言葉の壁が大きく、挫折感、劣等感を感じる

日々でした。それでも歯を食いしばって半年、1年と仕事を積み上げ、帰国が迫った今、ようやく生活が楽しめるようになりました。当然ボスの助けは欠かせませんでしたし、友人の助けは本当にありがたく感じました。特にボスには感謝の気持ちでいっぱいです。日常英会話のままならない私に、道を示して下さい、様々な勉強の機会を与えて下さいました。その中には、国際学会やセミナーでの講演という、留学前には到底思いもしなかった仕事もありました。

クリーブランドは、秋田県とほぼ同じ緯度で、冬は相当冷え込んで雪も多い地域です。それでも、春から夏は、緑が実に美しく広がります。小鳥がさえずり、リスが芝生を駆け回ります。夏には、世界三大オーケストラの一つ、クリーブランドオーケストラが、毎週末野外コンサートを開催します。緑に囲まれた野外音楽堂から響き渡る名曲を、家族3人で楽しむことができたことは、この上ない贅沢な時間だったと思います。また、大リーグのクリーブランドインディアーズ、NBAのキャバリアーズ、NFLのブラウンズがクリーブランドを本拠地にしています。どれも成績は今一つですが、ひとたびスタジアムに足を踏み入ると、観客が大いに地元チームを応援し、試合は盛り上がり、皆で試合を楽しむ雰囲気になります。もちろんイチローやダルビッシュなど、日本人プレーヤーが来たときは、多くの日本人が球場に駆けつけます。

クリーブランドクリニックでは、スタッフもフェローも、みな当然のように臨床と研究を両立させています。日々の臨床で生じた疑問点を研究で解決し、研究成果を臨床に生かします。この姿勢を間近で見ることができたことは、非常に刺激になりました。最後に、この留学にあたって、たくさんの方々から温かい応援を頂きました。最後まで充実した留学生活を送らせて頂いたことに感謝いたします。また、長野県の医療を、日々全力で支えている皆様に厚く御礼申し上げます。医師不足の時代に、さらに東日本大震災で日本が危機的な状況のさなかに海外にいることに、もどかしさを感じることもありましたが、この留学でたくさんの学びを得て、帰国後還元したいと思います。

(2013年1月)

(信州大学医学部内科学第五講座所属)